

「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-ウ	陸上交通基盤の整備	
施策	①各拠点を結ぶ道路網の整備		
(施策の小項目)	○陸上交通基盤の整備		
主な取組	情報通信技術の活用による交通の円滑化	実施計画 記載頁	167
対応する 主な課題	○道路は県民生活や経済活動を支える上で重要な役割を果たしているが、広域交流拠点と各圏域拠点間の有機的な連結が実現しておらず、交通渋滞が慢性化している状況であることから、体系的な幹線道路ネットワークの早期構築が必要である。		

1 取組の概要(Plan)

取組内容	道路における交通の安全と円滑を確保するため、交通信号機の新設・改良・更新、交通管制システムの充実・高度化、管制エリアの拡大及び信号機の集中制御化、高度道路交通システム(ITS)の整備に取り組み、交通安全環境の整備を推進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	交通管制システムの高度化(交差点信号機の集中制御化) H23年度580基(累計) → H28年度789基(累計)					→	国 県
	担当部課 警察本部交通部交通規制課、土木建築部						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成26年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
交通安全施設整備事業費	969,325	969,325	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交通信号機の新設・改良・更新 ■ 交通管制システムの充実・高度化 ■ 管制エリアの拡大及び信号機の集中制御化 ■ 高度道路交通システム(ITS)の整備(24基) 	県単等
活動指標名			計画値	実績値
交通信号機の集中制御化			789基(累計) (28年)	747基(累計)
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成26年度取組の効果			
順調	■ 交通管制システムの高度化及び管制エリアの拡大、高度道路交通システムの整備により、交通の安全と交通流の円滑化を図った。 (平成26年は56基整備。今後は主に更新対象機器の整備を図る。)			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成27年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
交通安全施設整備事業費	1,022,660	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交通信号機の新設・改良・更新 ■ 交通管制システムの充実・高度化 ■ 管制エリアの拡大及び信号機の集中制御化 ■ 高度道路交通システム(ITS)の整備 	県単等

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

交通安全施設の新設箇所の迅速かつ適切な選定に努め、信号機等の設計を外部に委託し業務の合理化、交通管制システムの高度化(交差点信号機の集中制御化)の効率化を図り、目標値達成が可能な計画的な施設整備を行った。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
交通管制システムの高度化	580	747(累計)	789(累計)	167	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	管制エリアの拡大、信号機の集中制御化、高度道路交通システムの整備を計画的に行い交通の円滑化を図っていく。(当初の整備目標値606基以上の747基を平成26年度末までに整備したことから改訂された目標値789基の整備を図りつつ、既存機器の老朽化対策更新を図る。)				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・新設道路の供用により新たに管制システムの増強、信号機の集中制御化、高度道路交通システムの整備を図りつつ、課題である老朽化した既存のシステムの更新整備を図る必要がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・交通管制システムの高度化、集中制御化等の増設及び既存システムの老朽化対策の予算確保、システムを整備、運用する人材の育成を図る必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・引き続き、業務の外部委託等事務の合理化を図り、交通安全施設の新設、改良、更新を効率的に行う。

・当初の整備目標値である606基以上の整備を図った、新たな目標値789基の整備に向け今後も整備を図りつつ老朽化している更新対象機器の整備を図る。